



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 アース製薬株式会社

コード番号 4985 URL <http://www.earth-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営統括部統括部長 (氏名) 三枚堂 正悟

TEL 03-5207-7458

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	96,410	3.1	11,523	4.8	11,488	2.0	7,118	7.9
27年12月期第2四半期	93,516	10.1	10,991	△10.3	11,265	△10.3	6,597	△7.1

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 6,392百万円 (△15.5%) 27年12月期第2四半期 7,567百万円 (4.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	352.48	—
27年12月期第2四半期	326.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	123,665	52,901	38.3
27年12月期	104,448	48,991	41.6

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 47,311百万円 27年12月期 43,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	110.00	110.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	6.4	5,100	27.0	5,900	38.5	3,000	157.5	148.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期2Q	20,200,000 株	27年12月期	20,200,000 株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	4,361 株	27年12月期	4,207 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期2Q	20,195,750 株	27年12月期2Q	20,195,928 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済について、国内景気は緩やかな回復基調が続くものの、消費者マインドに足踏みが見られるなど個人消費の持ち直しの動きは鈍化しております。また、当社が特に注力するアジア地域において中国の景気が緩やかに減速していることに加え、英国のEU離脱懸念などによる世界経済の下振れリスクもあり、景気の先行きは不透明感を増す状況です。

このような経済状況のなか、当社グループは「ベストクオリティで世界と共生」の基本理念のもと「お客様目線」に立ち、『海外展開の強化』『グループシナジーの最大化』『収益力の向上』を3つの重点テーマとした中期経営計画を掲げております。これらのテーマに加え、従来からの取り組みを発展・強化することで、中期経営目標“2020年連結売上高2,000億円、連結経常利益150億円の達成”に向けて、成長力と収益性の双方を高める経営を進めてまいります。中期経営計画の初年度である当期は、上記3つの重点テーマに沿った課題の解決に取り組み始めるとともに、白元アース㈱の確実な売上成長と収益改善を図っております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は新製品の寄与などにより964億10百万円(前年同期比 3.1%増)、また利益については売上増に伴う売上総利益の増加に加え、製造原価のコストダウンなどにより、営業利益115億23百万円(同 4.8%増)、経常利益114億88百万円(同 2.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益71億18百万円(同 7.9%増)となりました。

なお、当社グループは殺虫剤の売上構成比が高く、売上高が3月～7月に偏るといった季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には相応の影響があります。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

〔家庭用品事業〕

家庭用品事業におきましては、個人消費の持ち直しの動きが鈍化していることに加え、販売店の合併等に伴うバイイングパワーの増大などを背景に企業間競争が激しさを増す状況でありました。

このような状況のなか、新製品の発売や育成・拡販に向けた広告宣伝の集中投入などにより市場の活性化を図るとともに、売上高・利益の拡大を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は900億71百万円(前年同期比 3.7%増)、セグメント利益(営業利益)は105億67百万円(同 5.3%増)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
殺虫剤部門	44,213	43,730	△482	△1.1%
日用品部門	38,321	41,891	3,570	9.3%
口腔衛生用品	16,238	17,736	1,497	9.2%
入浴剤	8,061	8,875	814	10.1%
その他日用品	14,021	15,279	1,258	9.0%
ペット用品・その他部門	4,314	4,449	134	3.1%
売上高合計	86,848	90,071	3,222	3.7%
セグメント利益(営業利益)	10,035	10,567	531	5.3%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では3,694百万円、当第2四半期連結累計期間では4,367百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

殺虫剤部門

殺虫剤部門においては、店頭消化の最盛期である6月の最高気温が前年を上回り、国内家庭用殺虫剤市場は前年を上回る推移でありました。一方で、6月末時点における当社の市場シェア(自社推計)は56.7%(前年同期比0.9ポイント減)となりました。

このような状況のなか、日本で初めて化学合成殺虫剤を使わずにゴキブリを駆除・忌避する製品として防除用医薬部外品の認可を受けた『ナチュラス 凍らすジェットゴキブリ秒殺』『ナチュラス 天然ハーブのゴキブリよけ』などの新製品を中心にゴキブリ用殺虫剤が大きく伸長しました。一方、ハエ・蚊用殺虫剤や虫よけ用品については、市場の低調な推移が影響し前年を下回りました。また、海外販売においては現地通貨ベースで伸長したものの、為替の影響から円換算では伸び悩んだこともあり、当部門全体の売上高は437億30百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、前期の秋に発売した洗口液『モンダミン プレミアムケア』が売上に寄与したことに加え、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が引き続き順調に売上を伸ばしたことで、売上高は177億36百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

入浴剤分野においては、『バスクリン』や前期の秋に発売した発泡入浴剤『温泡』が売上に寄与し、売上高は88億75百万円(同10.1%増)となりました。

その他日用品分野においては、今春発売した消臭芳香剤『スッキーリ!』や、衣類用防虫剤『ミセスロイド』、除湿剤『ドライ&ドライUP』の新製品が寄与したことなどにより、売上高は152億79百万円(同9.0%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は418億91百万円(同9.3%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品・その他部門においては、売上高は44億49百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、「安全・安心」に対する意識の高まりから、主要な顧客層である食品関連工場を中心に、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスに対するニーズが拡大しております。

このような状況のなか、本年1月に新設した彩都総合研究所を拠点に研究・技術開発や人材の教育訓練を進めるとともに、差別化された品質保証サービスを提供し、契約の維持・拡大に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は107億59百万円(前年同期比3.3%増)となりましたが、彩都総合研究所の新設に伴う減価償却等の維持費が増加したことにより、セグメント利益(営業利益)は7億70百万円(同25.2%減)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	10,411	10,759	347	3.3%
セグメント利益(営業利益)	1,030	770	△259	△25.2%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では49百万円、当第2四半期連結累計期間では52百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べて192億16百万円増加し、1,236億65百万円となりました。これは主に、現金及び預金や売上債権が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べて153億6百万円増加し、707億64百万円となりました。これは主に、仕入債務、未払法人税等、未払金が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べて39億10百万円増加し、529億1百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて3.3ポイント低下し、38.3%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して50億29百万円増加し、164億21百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

営業活動の結果、増加した資金は86億82百万円(前年同期は71億26百万円の増加)となりました。この主な内容は、税金等調整前四半期純利益114億75百万円(同 113億85百万円)、減価償却費11億24百万円(同 9億68百万円)、のれんの償却額9億54百万円(同 9億54百万円)、売上債権の増加149億54百万円(同 146億1百万円の増加)、仕入債務の増加75億69百万円(同 77億74百万円の増加)であります。

投資活動の結果、減少した資金は21億59百万円(前年同期は17億15百万円の減少)となりました。この主な内容は、有形固定資産の取得による支出29億13百万円(同 19億61百万円)、有形固定資産の売却による収入10億66百万円(同 2億92百万円)であります。

財務活動の結果、減少した資金は16億12百万円(前年同期は12億87百万円の増加)となりました。この主な内容は、短期借入金の減少額3億96百万円(同 7億70百万円の増加)、長期借入金による増加13億13百万円(同 30億58百万円の増加)、配当金の支払額22億21百万円(同 22億21百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月9日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,391	15,921
受取手形及び売掛金	17,877	32,575
有価証券	-	500
商品及び製品	17,665	18,926
仕掛品	961	816
原材料及び貯蔵品	4,589	3,654
繰延税金資産	1,481	1,837
その他	2,211	2,087
貸倒引当金	△477	△383
流動資産合計	55,701	75,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,108	23,738
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,749	△11,868
建物及び構築物(純額)	10,359	11,869
機械装置及び運搬具	10,436	10,467
減価償却累計額	△8,195	△8,251
機械装置及び運搬具(純額)	2,241	2,215
土地	8,209	8,152
リース資産	534	539
減価償却累計額	△162	△217
リース資産(純額)	371	322
建設仮勘定	4,302	3,082
その他	7,047	7,598
減価償却累計額	△5,769	△6,083
その他(純額)	1,277	1,514
有形固定資産合計	26,761	27,157
無形固定資産		
のれん	11,802	10,848
リース資産	26	23
その他	874	849
無形固定資産合計	12,703	11,721
投資その他の資産		
投資有価証券	4,875	4,132
退職給付に係る資産	3,439	3,709
繰延税金資産	19	19
その他	955	998
貸倒引当金	△6	△7
投資その他の資産合計	9,282	8,852
固定資産合計	48,747	47,731
資産合計	104,448	123,665

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,640	32,227
短期借入金	4,051	3,568
1年内返済予定の長期借入金	3,066	3,272
未払金	5,904	8,006
未払法人税等	1,134	4,376
未払消費税等	431	1,175
賞与引当金	403	290
返品調整引当金	732	2,125
その他	3,384	3,260
流動負債合計	43,749	58,303
固定負債		
長期借入金	8,030	9,138
繰延税金負債	1,397	1,242
役員退職慰労引当金	140	147
退職給付に係る負債	639	595
資産除去債務	425	428
その他	1,073	908
固定負債合計	11,707	12,460
負債合計	55,457	70,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,377	3,377
資本剰余金	3,168	3,168
利益剰余金	34,441	39,320
自己株式	△12	△13
株主資本合計	40,974	45,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,169	777
為替換算調整勘定	683	33
退職給付に係る調整累計額	629	646
その他の包括利益累計額合計	2,482	1,458
非支配株主持分	5,533	5,589
純資産合計	48,991	52,901
負債純資産合計	104,448	123,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	93,516	96,410
売上原価	55,782	56,871
売上総利益	37,734	39,539
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,643	2,733
広告宣伝費	5,078	5,237
販売促進費	4,328	4,888
貸倒引当金繰入額	103	19
給料及び手当	5,971	6,213
賞与引当金繰入額	366	222
役員退職慰労引当金繰入額	7	9
旅費及び交通費	813	808
減価償却費	261	349
のれん償却額	954	954
地代家賃	455	495
研究開発費	1,138	1,274
その他	4,620	4,808
販売費及び一般管理費合計	26,743	28,015
営業利益	10,991	11,523
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	29	30
為替差益	11	-
受取ロイヤリティー	48	4
受取手数料	25	20
受取家賃	77	79
その他	145	142
営業外収益合計	345	283
営業外費用		
支払利息	46	44
為替差損	-	255
減価償却費	13	10
たな卸資産廃棄損	0	0
その他	11	6
営業外費用合計	71	318
経常利益	11,265	11,488

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	137	28
投資有価証券売却益	0	-
関係会社清算益	-	8
特別利益合計	137	36
特別損失		
固定資産売却損	7	1
固定資産除却損	6	16
投資有価証券評価損	3	32
特別損失合計	16	50
税金等調整前四半期純利益	11,385	11,475
法人税、住民税及び事業税	4,802	4,314
法人税等調整額	△398	△269
法人税等合計	4,403	4,044
四半期純利益	6,981	7,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	384	312
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,597	7,118

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	6,981	7,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	541	△405
為替換算調整勘定	50	△649
退職給付に係る調整額	△5	16
その他の包括利益合計	585	△1,038
四半期包括利益	7,567	6,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,167	6,093
非支配株主に係る四半期包括利益	400	298

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,385	11,475
減価償却費	968	1,124
のれん償却額	954	954
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,502	1,390
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△554	△308
売上債権の増減額(△は増加)	△14,601	△14,954
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,863	△364
仕入債務の増減額(△は減少)	7,774	7,569
その他	2,732	2,927
小計	8,299	9,815
利息及び配当金の受取額	36	37
利息の支払額	△46	△44
法人税等の支払額	△1,163	△1,125
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,126	8,682
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,961	△2,913
有形固定資産の売却による収入	292	1,066
投資有価証券の取得による支出	△6	△8
投資有価証券の売却による収入	0	-
その他の支出	△238	△459
その他の収入	198	155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,715	△2,159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	770	△396
長期借入れによる収入	4,050	3,050
長期借入金の返済による支出	△991	△1,736
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,221	△2,221
非支配株主への配当金の支払額	△253	△242
その他	△65	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,287	△1,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△181
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,711	4,728
現金及び現金同等物の期首残高	12,426	11,391
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	181
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	119
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,137	16,421

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	83,154	10,362	93,516	—	93,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高(注)1	3,694	49	3,743	△3,743	—
計	86,848	10,411	97,260	△3,743	93,516
セグメント利益	10,035	1,030	11,066	△75	10,991

- (注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△75百万円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	85,703	10,706	96,410	—	96,410
セグメント間の内部 売上高又は振替高(注)1	4,367	52	4,420	△4,420	—
計	90,071	10,759	100,830	△4,420	96,410
セグメント利益	10,567	770	11,337	185	11,523

- (注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額185百万円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。